

プログラム

2月5日（第1日目）

◆ 開会の辞

13:00～13:05

吉田貴彦（旭川医科大学健康科学講座）

◆ 一般演題（発表15分、質疑5分）

13:05～14:05

1-1 旧日本軍毒ガス原料による有機砒素汚染-茨城県神栖市の汚染水田と収穫米について-

○楡井 久¹⁾、檜山知代²⁾

¹⁾NPO 日本地質汚染審査機構、²⁾大阪市立大学大学院理学研究科

1-2 ジフェニルアルシン酸の嫌気的変換に関与する土壤微生物群の解析

○Ling GUAN¹⁾, Naoki HARADA²⁾, Masanori NONAKA²⁾

¹⁾Graduate School of Science and Technology, Niigata University

²⁾Faculty of Agriculture, Niigata University

1-3 蛍光センサータンパク質とプロモーターDNA 断片の相互作用に基づくヒ素バイオセンサーの開発

○前田勇¹⁾、宮坂均²⁾

¹⁾宇都宮大学農学部、²⁾関西電力(株)環境技術研究センター

14:05～15:05 座長：神 和夫（北海道立衛生研究所健康科学部）

1-4 ガンジス川流域採取試料の中性子放射化によるヒ素分析

○長田 栄二¹⁾、田辺 公子²⁾、松田 達郎³⁾、瀬崎 満弘³⁾、塩盛 弘一郎³⁾、前田 幸重³⁾、中島 暉⁴⁾、宮原 一平³⁾

¹⁾宮崎大学フロンティア科学実験総合センター、²⁾宮崎大学産学連携センター、

³⁾宮崎大学工学部、⁴⁾宮崎大学医学部

1-5 ICP-DRC-MS を用いたヒ素の定量における内標準元素の検討

○宮下振一、貝瀬利一

東京薬科大学大学院生命科学研究科

1-6 HPLC/ICP-MS によるアルセノシュガーの分析へのヒ素、リン、硫黄同時検出法の適用

○宮下振一¹⁾、木下健司²⁾、貝瀬利一¹⁾

¹⁾東京薬科大学大学院生命科学研究科、²⁾(地独)東京都立産業技術研究センター

◆ 特別講演 I

15:15～16:15 座長：鰐淵英機（大阪市立大学大学院医学研究科 都市環境病理学）

ヒ素の感知・応答センサーおよびリスク軽減因子としての Keap1/Nrf2 システム

熊谷嘉人

筑波大学大学院人間総合科学研究科生命システム医学専攻

◆ 一般演題（発表 15 分、質疑 5 分）

16:25～17:25 座長：角 大悟（徳島文理大学薬学部衛生化学講座）

1-7 CHO-K1 細胞における亜ヒ酸のマクロピノーシス阻害効果

○平野靖史郎・小林弥生・渡辺喬之・太田悠葵

独立行政法人 国立環境研究所

1-8 3 価の無機ヒ素曝露による p130 増加を介した細胞増殖抑制メカニズム

○岡村和幸^{1,2)}、三木大介^{1,2)}、野原恵子^{1,2)}

¹⁾ 国立環境研究所 環境健康研究領域 分子細胞毒性研究室

²⁾ 筑波大学大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻

1-9 C3H マウスにおける無機ヒ素胎児期曝露の性依存的後発影響

○野原恵子¹⁾、塚原伸治²⁾、立石幸代¹⁾、鈴木武博¹⁾、前川文彦¹⁾

¹⁾ 独立行政法人 国立環境研究所 環境健康研究領域 分子細胞毒性研究室

²⁾ 埼玉大学 理学部 生体制御学科 調節生理学研究室

17:25～18:25 座長：圓藤陽子（関西労災病院産業中毒研究センター）

**1-10 ヒ素膀胱発がんの原因物質の検索：新規ヒ素代謝物ジメチルモノチオアルシン酸の産生系
路の解明およびその膀胱上皮細胞に及ぼす影響の検討**

○金川明裕^{1) 2)}、魏民¹⁾、吉田香¹⁾、圓藤吟史²⁾、鰐淵英機¹⁾

¹⁾ 大阪市立大学大学院医学研究科 都市環境病理学

²⁾ 大阪市立大学大学院医学研究科 産業医学

1-11 Interferon-beta の産生抑制を介した亜ヒ酸による NO 産生阻害機構

○津山博匡，角 大悟，藤代 瞳，姫野誠一郎

徳島文理大学薬学部 衛生化学講座

1-12 含硫メチル化ヒ素の酵素的生成とその動態に関する in vitro 実験での検討

○下田康代¹⁾、山中健三¹⁾、加藤孝一¹⁾、立川真理子¹⁾、圓藤陽子²⁾、圓藤吟史³⁾

¹⁾日本大学薬学部、²⁾関西労災病院産業中毒研究センター

³⁾大阪市立大学大学院医学研究科

2月6日（第2日目）

◆ 一般演題（発表 15 分、質疑 5 分）

9:10~10:10 座長：花岡研一（水産大学校水産学研究科）

2-1 ヒジキからのヒ素（As）溶出に対する消化酵素の影響

○片山真之、片山洋子

大阪青山大学 健康栄養学科

2-2 魚食性猛禽類ミサゴの生態と生息環境中ヒ素濃度の実態

○千葉啓子¹⁾、海田輝之²⁾、世良耕一郎³⁾、由井正敏⁴⁾

¹⁾岩手県立大学盛岡短期大学部、²⁾岩手大学工学部、

³⁾岩手医科大学サイクロトロンセンター、⁴⁾東北鳥類研究所

2-3 海産物の化学形態別ヒ素分析-抽出法の検討

○畑 明寿¹⁾、圓藤 陽子²⁾、山中 健三³⁾、藤谷 登¹⁾、圓藤 吟史⁴⁾

¹⁾千葉科学大学危機管理学部、²⁾関西労災病院、³⁾日本大学薬学部、

⁴⁾大阪市立大学大学院医学研究科

10:10~10:50 座長：千葉啓子（岩手県立大学盛岡短期大学部）

2-4 ヒ素感受性に関与する遺伝子群の探索

○信國好俊¹⁾、升本順子¹⁾、安武章²⁾

¹⁾広島大学原爆放射線医科学研究所 ゲノム障害病理

²⁾国立水俣病総合研究センター 生化学

2-5 ベトナム人におけるヒ素代謝能の個人差：ヒ素曝露レベルと代謝遺伝子多型の影響

○阿草哲郎^{1),2)}、岩田久人²⁾、國頭 恭³⁾、藤原純子¹⁾、Tu Binh Minh⁴⁾、

Pham Thi Kim Trang⁴⁾、Pham Hung Viet⁴⁾、竹下治男¹⁾、田辺信介²⁾

¹⁾島根大学医学部法医学講座、²⁾愛媛大学沿岸環境科学研究センター（CMES）、

³⁾信州大学理学部物質循環学科、⁴⁾Center for Environmental Technology and Sustainable Development (CETASD), Hanoi University of Science, Hanoi, Vietnam

◆ 特別講演Ⅱ

11:00～12:00 座長：吉田貴彦（旭川医科大学健康科学講座）

The Historical and Present Situation of Arsenicosis Research of Past 15 Years in China

Guifan Sun

School of Public Health, China Medical University

◆ 理事会

12:00～12:45

◆ 総会

12:45～13:15

◆ 一般演題（発表 15 分、質疑 5 分）

13:20～14:20 座長：平野靖史郎（独立行政法人 国立環境研究所）

2-6 **HepG2 細胞において Nrf2/HO-1 シグナルの活性化はヒ素の毒性の軽減に関与する**

○安孫子ユミ、新開泰弘、角 大悟、熊谷嘉人

筑波大学大学院人間総合科学研究科

2-7 **γ -GTP 阻害剤を前投与したラットにおけるジフェニルアルシン酸の体内動態**

○小林弥生¹⁾、山城彩花²⁾、平野靖史郎¹⁾

¹⁾国立環境研究所、²⁾茨城県立友部病院

2-8 **無機ヒ素のメチル化と生体防御反応に対するスルフォラファンの効果**

○内村彩子¹⁾、戸田枝里子¹⁾、江尻直美²⁾、伊藤俊弘³⁾、吉田貴彦³⁾、山内博^{1,2)}

¹⁾北里大学大学院医療系研究科環境医科学群、²⁾北里大学医療衛生学部公衆衛生学

³⁾旭川医科大学健康科学

14:20～15:40 座長：山内 博（北里大学医療衛生学部公衆衛生学）

2-9 **玄米中のヒ素・カドミウム濃度に及ぼす水管理と資材施用の影響**

○荒尾知人¹⁾・馬場浩司¹⁾・川崎晃¹⁾・松本真悟²⁾・牧野知之¹⁾

¹⁾（独）農業環境技術研究所、²⁾島根大学

2-10 ジフェニルアルシン酸汚染農耕地土壌における有機ヒ素の稲による吸収、及び活性炭施用による吸収低減

○荒尾知人、馬場浩司、前島勇治

(独) 農業環境技術研究所

2-11,12 無機ヒ素の無毒化処理の意義と将来

○山内博^{1,2)}、中野(青木)瑞穂¹⁾、井上葉子²⁾、鳥居佳介¹⁾、水津珠代¹⁾、
高野(宮本)清子¹⁾、中村浩一郎³⁾

¹⁾北里大学大学院医療系研究科環境医科学群、²⁾北里大学医療衛生学部公衆衛生学

³⁾日本板硝子開発部

◆ 授賞式、閉会式

15:40～15:50